

## 平成 29 年度 社会福祉法人白翁会事業報告書

### はじめに

平成 29 年度は、社会福祉法等の一部を改正する法律が施行され、「経営組織のガバナンスの強化」、「事業運営の透明性の向上」、「財務規律の強化」、「地域における公益的な取組」をポイントとする社会福祉法人制度の見直しがおこなわれた。白翁会においても新評議員による定時評議委員会の開催や、新理事・監事による理事会を開催し、業務執行上の重要事項を審議・決定し、実行してきたところである。

また、今回の制度改革により、社会福祉法人の優れた公益性と非営利性を発揮し、特定の社会福祉事業の領域に留まることなく、地域社会に貢献する取り組みとして、あらゆる生活課題や福祉ニーズに総合的かつ専門的に即応することで地域に暮らす方々に期待されている役割を十分に果たしていく。

平成 29 年度の経営内容については、介護保険事業所において、各事業所とも利用率向上と、空床日数の短縮化に努め、昨年より改善傾向ではあったが、平成 27 年度の報酬改定の影響は続いており、引き続き厳しい 1 年であった。

また、職員不足は非常に深刻な問題となっており、平成 29 年度においては、法人全体での求人活動を実施し、職員確保へ繋げてきたが苦慮している。人員確保は、全業種において同じ問題が発生しており、今後、社会問題となる状況であることから、この件については平成 30 年度の重要案件として捉え、対応していく予定である。

障害者支援事業については、平成 29 年度は長年の懸案事項であった浴室改修工事を実施した。安全で安心した入浴ができ、職員への介助負担の軽減も目的とし、冬暖かく、夏涼しい快適な浴室となった。また、特殊入浴機器も入替え、今後予想される重度化・高齢化に対応する機器とした。

法人全体では、光陽荘の浴室改修工事があったものの、資金収支は昨年度を上回り、引き続き安定した運営が確保できている。また、平成 30 年度は、高齢者・障害者の報酬改定の年でもあることから、適正な人員配置及び体制等に向けて取り組んできたところである。

特別養護老人ホーム施設整備については、平成 29 年度は具体的な基本構想の確認と、平成 30 年度に向けた準備を進めてきた。県・市へも今後のスケジュールの確認をし、解決すべき課題の整理とともに、慎重かつ確実に進めていくこととする。

以下、項を追って報告する。

## 1 法人運営に関する事項

### (1) 理事会・評議員会等の開催

①第1回臨時理事会 平成29年4月1日 ・出席者： 理事 5人 監事1人

#### ・審議事項

- (1) 社会福祉法人白翁会 理事長選定について
- (2) 社会福祉法人白翁会 定款細則改正（案）の件
- (3) 社会福祉法人白翁会 経理規程改正（案）の件
- (4) 社会福祉法人白翁会 経理規程細則改正（案）の件

②第2回定例理事会 平成29年5月26日 ・出席者： 理事 5人 監事2人

#### ・審議事項

- (1) 社会福祉法人白翁会 平成28年度 事業報告(案)の件
- (2) 社会福祉法人白翁会 平成28年度 決算報告(案)の件
- (3) 社会福祉法人白翁会 社会福祉充実残額承認の件
- (4) 社会福祉法人白翁会 理事・監事候補者の件
- (5) 社会福祉法人白翁会 定時評議員会 開催日程の件

③第3回臨時理事会 平成29年6月5日 ・出席者：理事 4人 監事1人

#### ・審議事項

- (1) 障害者支援施設 光陽荘浴室改修工事請負契約承認（案）の件
- (2) 社会福祉法人白翁会 光陽荘特殊浴槽購入契約締結（案）の件
- (3) 社会福祉法人白翁会 役員報酬及び費用弁償等に関する規程改正（案）の件

④第1回定時評議員会 平成29年6月15日 ・出席者：評議員7人 監事2人

#### ・審議事項

- (1) 社会福祉法人白翁会 平成28年度 事業報告(案)の件
- (2) 社会福祉法人白翁会 平成28年度 決算報告(案)の件
- (3) 社会福祉法人白翁会 社会福祉充実残額承認（案）の件
- (4) 社会福祉法人白翁会 任期満了に伴う理事選任の件
- (5) 社会福祉法人白翁会 任期満了に伴う監事選任の件
- (6) 社会福祉法人白翁会 任期満了に伴う顧問選任の件
- (7) 社会福祉法人白翁会 役員報酬規程改正（案）の件

⑤第4回臨時理事会 平成29年6月15日 ・出席者：理事7人 監事2人

#### ・審議事項

- (1) 社会福祉法人白翁会 理事長選定について
- (2) 社会福祉法人白翁会 業務執行理事選定について

⑥第5回定例理事会 平成29年12月4日 出席者：理事7人 監事2人

・審議事項

- (1) 平成29年度 第1次資金収支補正予算書(案)について
- (2) 社会福祉法人白翁会 職員就業規則改定(案)の件  
平成29年度 上半期の施設運営及び財務状況等について

⑦第6回定例理事会 平成30年3月29日 出席者：理事7人 監事2人

・審議事項

- (1) 社会福祉法人白翁会 平成29年度第2次補正予算(案)の件
- (2) 社会福祉法人白翁会 平成30年度事業計画(案)の件
- (3) 社会福祉法人白翁会 平成30年度事業予算(案)の件
- (4) 社会福祉法人白翁会 職員就業規則改正(案)について
- (5) 社会福祉法人白翁会 非常勤職員就業規則改正(案)について
- (6) 社会福祉法人白翁会 職員給与規程改正(案)について
- (7) 社会福祉法人白翁会 非常勤職員給与規程改正(案)について
- (8) 社会福祉法人白翁会 平成30年度給食業務委託契約(案)について
- (9) 社会福祉法人白翁会 第三者委員選任(案)について
- (10) 社会福祉法人白翁会 平成29年度介護職員処遇改善一時金支給について
- (11) 社会福祉法人白翁会 育児・介護休業規程改正(案)について
- (12) 社会福祉法人白翁会 職員勤怠管理システム導入(案)について

その他報告事項

- ・平成29年度 実地指導結果について、是正・改善報告(喜久の園)
- ・平成29年度 理事長及び業務執行理事 職務執行報告について

(2) 平成29年度「社会福祉法人監事監査研修会」

平成29年4月14日 出席者：監事1人

## 2 人材確保対策

平成29年度新規学卒者の採用計画については、前年度と同様、5名の採用枠を決定し、大学、専門学校及び地元高校等に対し求人活動を行った。結果として、高校生1名を内定し、受け入れ準備をすすめてきたが、就職辞退となった。

良質な人材の確保は法人経営の要でもあるが、静岡県福祉人材センターの主催する「福祉の仕事就職フェア」への参加や、菊川市主催による中学生を対象とする「キャリ

ア学習会」での法人アピールなど、地道な広報活動による法人紹介を実施した。また期中において法人全体の中途採用の募集広告を実施。結果として2名の職員確保ができた。

・法人全体の職員の状況（単位：人 3月末時点）

| 年度   | 平成 29 年度 |       |     | 平成 28 年度 |       |     |
|------|----------|-------|-----|----------|-------|-----|
|      | 正規職員     | 非常勤職員 | 計   | 正規職員     | 非常勤職員 | 計   |
| 千寿の園 | 37       | 24    | 61  | 37       | 19    | 56  |
| 喜久の園 | 30       | 22    | 52  | 30       | 24    | 54  |
| 内田デイ | 4        | 14    | 18  | 5        | 14    | 19  |
| 光陽荘  | 35       | 21    | 56  | 33       | 20    | 53  |
|      |          |       |     |          |       |     |
| 合計   | 106      | 81    | 187 | 105      | 77    | 182 |

※嘱託医師を除く

### 3 職員の福利厚生

法人職員が育児を行いながら勤務を継続できるよう、市内NPO法人「かすみ草」との間で保育料助成の契約を交わし保育支援制度を実施している。働きながら子育てをする職員に対して支援する制度である。（当年度利用職員数 4人・児童数 4人・必要経費 1,726千円）

### 4 感染症予防対策

これまでの発生状況を踏まえて、各施設、事業所において、感染症対策実施マニュアルの改訂版の作成等をはじめ、従来以上の予防対策を講じたところであるが、光陽荘において、インフルエンザが集団発症し、ショートステイの受入中止や、タミフル配布、施設内消毒処理など実施した。また、ノロウイルスについては喜久の園において発生し、一時期ショートステイの利用も影響した。千寿の園については職員全員による消毒作業を励行した結果、発症はなかった。

### 5 決算の状況

平成 29 年度決算について、事業活動収入全体は昨年度比較においてプラスとなった。主な要因として、ショートステイの利用率向上と処遇改善加算の増額などが影響したが、空床日数の削減などによる、特養の稼働率アップもプラス要素となった。

光陽荘については、退所・入院・インフルエンザ発生などが原因によるマイナスが発生したが、後半にかけて改善をした。平成 30 年度については、取得できる加算は積極的に取り組んでいくこととし、施設間での職員配置転換により、取り組み内容の見直しや精査などの展開を期待している。

支出の部の人件費について、昨年度より増となったが、これは平成 29 年度介護職員

処遇改善加算により一時金の支給が発生したものによる。事業費及び事務費について、事業費では微増となっているが、全体では良くコントロールされている。ただし、水道光熱費は徐々に増加しており、引き続き省エネに取り組んでいく必要がある。また事務費についても良くコントロールされているが、今後、職員確保のための、様々な手法や宣伝費用に予算が必要になると推測される。業務委託費については、全事業者において人手不足感が発生しており、人員確保のための値上げなどが予想される。平成 29 年度は、光陽荘において浴室改修工事が発生し、この工事に伴い、移行時特別積立金取崩や入浴機器の導入などが発生したが、当期資金収支差額は昨年を上回る結果となった。なお、これらの経理内容については、5 月 16 日に杉山明喜雄公認会計士事務所の監査を受けた。

① 4 施設 1 事業所の事業活動と法人の主たる収入及び人件費の支出状況（単位千円）

| 項目<br>年度 | 介護保険・障害者サービス |         | 人件費支出   |         | 事業活動資金収支差額 |        |
|----------|--------------|---------|---------|---------|------------|--------|
|          | 29 年度        | 28 年度   | 29 年度   | 28 年度   | 29 年度      | 28 年度  |
| 千寿の園     | 318,496      | 311,132 | 228,770 | 233,401 | 10,046     | 932    |
| 喜久の園     | 273,506      | 268,716 | 202,722 | 199,405 | 7,821      | 5,231  |
| 内田デイ     | 66,069       | 64,883  | 50,861  | 48,360  | -1,024     | -379   |
| 光陽荘      | 349,159      | 352,711 | 206,130 | 203,158 | 62,539     | 68,956 |
| 計        | 1,007,230    | 997,442 | 688,483 | 684,324 | 79,382     | 74,740 |

注：拠点区分間繰入措置は行われなかったものとして記載した。

## 6 地域における公益的な取組等

白翁会では、昨年度に引き続き、施設における労働を通じた引きこもり支援活動への協力、特別養護老人ホームの地域交流センターの、地域への利用開放及び地域自治体との防災協定に基づく防災用品の保管・共同利用等を行ってきた。またデイサービスセンターの送迎車両を活用した地域自主防犯パトロール（青パト）事業を実施や、地域の各種イベントの活性化を支援するため、施設作品を販売する店の開業事業などを実施したところである。

来年度においては、菊川市から「認知症カフェ」事業を受託し、千寿の園及び喜久の園において、高齢者家族からの相談や、介護予防運動などの実施を予定している。

今後とも、地域のために地域と共に生きる法人として、地域に貢献する活動を積極的に展開していく。